



会からのお知らせ

○ 7月度定例役員会

日時：7月11日(土) 13:00～16:00
場所：ふるさと歴史館研修室
役員会の前にニュース封入作業があります。
会員の方はどなたでも参加できますので、是非お出
てください。

○ 第64回雑学講座

日時：8月8日(土) 15:00～16:30
場所：未定
講師：清水元氏(日本紅茶協会専務理事 国分寺稲門会幹事)
演題：紅茶の話あれこれ
国分寺稲門会の幹事としてご活躍の清水氏は、昭和38年法学部卒。
紅茶にまつわる楽しいお話を、実演を交えてたっぷりとしていただきます。
ご期待ください。

○ 7月度お誕生会(担当幹事 南湖 TEL 390-2287)

日時：7月11日(土) 17:00～19:00
場所：割烹「丸藤」久米川駅南口から徒歩1分
電話042-395-5646
会費：3,000円

☆ 7月度お誕生の方々(敬称略 17名)

小野浩一・奥山幾正・川合宏幸・北野次郎・紅松 喬・小出孝子・幸田瑞雄・高橋一彦
藤田洋司・高部素行・高鷲 近・田邊正史・富塚哲夫・鍋島高明・松永常尚・三宅良太
横尾正宏

☆誕生月ではないがご出席希望の方もご遠慮なく担当幹事までご連絡のうえぜひご参加ください。
また、誕生月該当者で、上記されていない方、担当幹事までご連絡ください。

○ 他校友会関連の会議

国分寺稲門会 6月6日(土) 小野幹事・松永氏出席
武蔵野稲門会 6月6日(土) 三宅相談役出席

○ 入会者

小林裕子(こばやし・ゆうこ) S57・法
美住町2-17-18 TEL 396-3338
お誕生月 4月 (井手 巖さんご紹介)

○ 住所変更

小野浩一 S62商
新住所 〒731-5125
広島県広島市佐伯区五日市駅前1-12-27-404
TEL 090-7979-8726

○ 納涼会

日 時： 8月2日（日） 午後4時～午後7時 （雨天でも実施します。）
場 所： 當間昭治（副会長）宅
久米川町3-14-4 TEL 391-6023
地図は7月のニュースでご案内します。）
会 費： 会員 2,000円
ゲスト 500円
会員家族 無料

大学のニュース

12,580名の旅立ち、13,314名の出会い 2008年度卒業式、2009年度入学式

3月25日に2008年度学部、芸術学校卒業式、大学院学位授与式が行われました。途中からあいにくの雨となりましたが、色とりどりの振り袖や袴がキャンパスを彩りました。この日卒業したのは、学部9,695名、芸術学校106名、大学院修士課程1,909名、専門職課程699名、博士学位受領者171名、合計12,580名。「早稲田で育った皆様は疑いなく社会のために育ったと確信します。早稲田人として前を向いて自信をもって進んでください」という白井克彦総長の言葉に背を押され、それぞれの道に歩を進めました。

一方、4月1日、2日には2009年度入学式（学部・大学院）が行われ、学部10,147名、大学院3,167名、総数13,314名の新入生を迎えました。新入生には、白井総長から「他者の助けや支配なしに自分の力で物事を考え、実行できる“立つ”『自立』と、地球市民として、強い倫理観を持ち、自分の立てた規律や規範に従って行動すると言う意味で“律する”『自律』を実現して欲しい。そして精一杯の青春を実現し、知的探求をする喜びを満喫し、世界のリーダーとして、人類・社会のために資するという使命感を持つ人材に育ってください」と期待の言葉が寄せられました。

5月度「お誕生会」報告



担当監事：南湖修一 390-2287

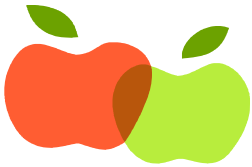
今月の「お誕生会」は、いつもの丸藤にて5月にお誕生日を迎えられる15名中4名の他役員などで合計20名の参加を得て行なわれた。小亀会長からの「元気で長生きが一番！」とのお言葉のあと、恒例となった風間副会長による5月お誕生の4名の方々のご紹介と乾杯の音頭によって17時頃から開始となった。

小亀会長からいも焼酎1本と煎餅「小亀」の差し入れもあり、会は次第に盛り上がりを見せた。しばらく歓談のあと、会長から誕生日を祝し4名の方々にバースデープレゼントが贈呈され、該当4名からはそれぞれ近況などのスピーチをいただいた。

最初の赤荻洋一さんからは、最近奥様と行かれたスペイン旅行の感激をご披露いただき、三重県出身の森本史さんは郷里へ帰られた際感じた“地方再生の必要性”を訴えられた。

滝川桜子さんからは大学時代心理学を勉強されそれが今日もご活躍いただいている賜とのお話があり、最後に立たれたラグビーがお好きの守屋幸一郎さんはウォーキング、トレッキング、ジョギングに適した場所がいっぱいあり、東村山をこよなく愛していると語られた。

わいわいがやがや和やかなムードで会は順調に進んで飲み物も少なくなり、赤荻さんによる記念撮影（タイマーを使用し赤荻さん自らも集合被写体に加わり）、當間副会長のご挨拶の後、井垣さんの音頭により、「東村山稲門会の歌」、「早稲田大学校歌（1番だけ）」を全員で斉唱し19時過ぎに散会となった。



食べ物への感謝

井原 徹 (S44・法)

お米とリンゴを例にとって、食べ物への感謝の気持ちを大切にしましょうという話をします。

先ず、お米についてですが、そもそも私は信州・善光寺平の農家の倅でして、家はお米、リンゴ、花等の生産を営んでいました。お米は銘柄米ではなく、のうりん〇号とかいうものだったと記憶しています。突然話は変わりますが、私は早稲田大学を卒業してすぐに早稲田大学の職員になり、サラリーマン生活に入りましたが、「有給休暇」というものには、どうしても馴染めませんでした。農業をやった者なら誰でも分かってもらえるのですが、「働かないのに、お金を貰える」という仕組みが不思議でした。農家は、頭が痛かろうが、体調が思わしくなかろうが、収入を得るためには、やるべき時に農作業をやらなければ、1年間の収入がふいになってしまいます。それに対して、サラリーマンは何のかのと理由をつけて、権利として有給休暇を消化していきます。当初は本当に馴染めませんでした。

そんな農家に育った私も、お米に対する感謝の気持ちというのは、親父の食事のときの仕草で初めて知りました。親父はご飯をいただくとき、先ず茶碗を目の高さくらいまでおしただき、お米を真っ先に口に運んでいました。味噌汁やおかずはその後口にしていました。主食であるお米に対する感謝と礼儀だったと聞きました。私もお米を先に食べる習慣ができました。何ということもない話かもしれませんが、私にとっては大切なことになっています。

次に、リンゴに対する感謝ですが、皆さんはリンゴをどうやって食べていますか？リンゴを縦に4等分し、皮をむき、芯をざっくり切り取って食べていませんか？我が家でもそういう食べ方が主流です。しかし、私はリンゴ農家で育った者として、本当は次のように食べるのが、リンゴに対する感謝だと思っています。①リンゴをよく水洗いする。②リンゴを横に4～5の輪切りにする。③星形に残る芯の近くまで食べる。もちろん、皮もいただく。

こうすれば、皮と果肉の全ての栄養を取れるし、何よりも捨てる部分が最小になり、無駄がなくなります。特に最近食べる機会が多い「富士」は、芯の近くに蜜が溜まっているので、その一番美味しいところを味わうことができます。是非試してみてください。今までのリンゴとは違う味を感じるはずですよ。物を大切に、食べ物に感謝する気持ちに、きっとなると思います。

因みに、慶事で喜ばれるリンゴで、「善光寺平」とか「感謝」「心」「愛」といった文字がリンゴに書かれているのを見たことがあるでしょうか？あれは、実が結構大きくなった後に袋を外し、墨で字を書いた透明のセロファンをリンゴに着せて、日光に当てると、字の部分が青いまま残り、他の部分が赤くなるからリンゴに字が書かれるのです。この手法は、たしか、私の母方の実家である荒井農園が最初にやったことだと聞いています。

なお、井原 徹さんは4月1日付けで学校法人実践女子学園の理事長に就任されました。ますますのご活躍をお祈り申し上げます。(事務局)

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

健康増進同好会

世話人 大西幸夫 TEL 395-2817



5月度の例会は5月6日に予定しましたが、ニュースの配布が間に合わないと思いましたので中止と致しました。6月度の予定は下記の通りです。

実施予定日時： 6月19日(金) 10時～12時

場所： 東村山スポーツセンター 小会議室

旅行同好会

世話人 風間和夫
長井 治TEL 394-5279
393-0795

第6回目となる旅行会は、参加者26名(内夫人5名)の皆さんと、九十九里浜、犬吠埼温泉、鹿島神宮、醤油・ビール工場を見学するなど内容のある楽しい1泊2日の旅行となりました。

平成21年5月21日(木)、東村山駅・東口を予定通り(?)午前8時15分に出発。バス会社は地元のメモリー観光バス。少しでも地域経済の活性化の一助になれば、と世話人さんの気配り(?)。バスは風間さんの軽妙な進行で車内は笑いのうちに進み、新宿から首都高～東関東道～千葉東金道を通り、九十九里に到着。天候は晴。自然の織り成す風紋の浜を散策、夫人達は真っ白な大小の美しい貝殻を探して楽しむ。「飯岡刑部岬(イイカギョウブミサキ)展望館」全長66Kmもあるという九十九里浜を一望。続いて「地球の丸く見える丘展望館」では水平線の大パノラマを見て改めて地球の丸さを実感。そして今回の宿となる犬吠埼・京成ホテルに到着。

※犬吠埼 銚子に置き去りにされた源義経の愛犬が主人を慕って鳴き続け岩と化したという伝説、それが地名の由来(?)

旅行の疲れをゆっくりと温泉で癒す。いよいよ旅行会のメインイベント懇親会。小亀会長の挨拶、藤澤さんの乾杯で始まる。銚子港で水揚げされた鮮魚、おいしい地酒を酌み交わし、会はいよいよ盛り上がる。最後は東村山稲門会旗を前に全員で記念撮影をして会はお開き。恒例の二次会は男子全員出席で、岡田さんが持参した焼酎を楽しむ。1日目は終了。

2日目 朝から曇り、本州で一番早いと言われている日の出が見られず残念。ホテルを8時30分に出発。すぐ近くにある犬吠埼灯台(明治7年に完成点灯)、最上階までの九十九段を頑張って登る。続いて



毎日の食卓に欠かせない醤油。千葉県は醤油王国で世界に名だたるキッコーマンをはじめ30以上の蔵元がある。そのうちの一つ、創業400年近くになるという「ヒゲタ醤油工場」を見学、実際に醤油が出きる麹づくり、仕込み、仕上げの行程に見入る。工場からは参加者1人1本の卓上醤油をもらう。皆さん素直に喜ぶ。

茨城県に入り、鹿島神宮を参拝。香取、息栖とともに東国三大神のひとつとして知られ、今から二千数百年前に創祀されたと伝えられる古社。武神である武甕槌大神(タケミカヅチノカミ)を祀っている。大鳥居をくぐるとその昔、大神が降臨したという地の静寂さと歴史的風景がひしひしと感じられる。大洗で昼食、海産物の買い物。最後に、あのスーパードライのアサヒビール茨城工場を見学。近代的な設備、規模の大きさに圧倒される。場内で親切な案内に続いて特別ゲストルームでおつまみ付きの大試飲会。藤澤さん(元アサヒビール副社長)の格別な配慮があつてのことで、皆さん大満足でした。

このあと帰路。谷和原から常磐道～東京外環道の和光経由で東村山駅に19時無事到着。2日間で約500Kmの安全運転をしてくれた運転手さん、お疲れ様でした。又世話人さんの風間さん、長井さんには計画から実施にといろいろありがとうございました。次回も全員の皆さんが健康で元気に参加できることを願って散会。

(S37法 青山 稔 記)

参加者 (順不同・敬称略)

青山稔 赤荻洋一 井垣和太 江藤昌明 岡田一郎 小野智 小林傳 幸田瑞雄 高橋正夫
高鷲近 月森通夫 内藤慎 長野長生 額田伊久夫 福田昇七 風間和夫 木谷肇 同夫人
小亀輝雄 同夫人 當間昭治 同夫人 藤澤博恭 同夫人 長井治 同夫人

カラオケ同好会

世話人 内藤 慎 TEL 393-5071



5月の例会を5月9日開催。参加は6名ですが皆さん熱唱また熱唱、大いに盛り上がりました。然しながらポツカリ穴が。芦田氏の指定席は当分埋まりそうありません。本当に残念です。

会は採点を行い、どういう歌が機械の採点がよいか各自研究、今後が楽しみです。参加者は井垣、高鷲、滝川、南湖、福田、内藤の各氏6名、楽しい一夜でした。

お知らせ：

毎年開催しております新宿、芽ぐみの開催を下記の予定で行います。

7月17日（金） 17:00-20:00

山下氏も体調が良ければ参加したいと意欲的で多数の参加を是非お待ちしております。

今後の予定：

6月6日（土） 19:10より カラオケランド ブー

7月は新宿で開催の為、東村山ではお休みと成ります。

テニス同好会

世話人 當間 昭治 TEL 391-6023



5月の例会は16日（土）久米川コートで実施。参加者は井手、田島、高橋、滝来、市川夫人、當間の6名。開始前にローラーで締め固めが行われ、良好な状態でプレーができました。西武球場のコートで練習を積まれている滝来さんの、正確なプレーが光りました。

6月と7月は下記の予定です。

記

日時	6月 7日（日）	午後1時～午後5時
	7月 11日（土）	午前9時～午前11時
場所	6/7は運動公園コートC	
	7/11は久米川コート3	

ゴルフ同好会

世話人 井垣 和太 04-2924-2934



第26回09年秋季東村山稲門会ゴルフコンペを、9月27日（日）西武園ゴルフ場で開催いたします。

詳細は、7月号以降にお知らせいたします。

これまでの例に習い、秋は近場のゴルフ場で、休日に開催することになりました。中間決算期末ということもありますが、何とかお差し繰りの上ホームコースでのゴルフ会に、一人でも多くの参加をいただけますようご案内いたします。

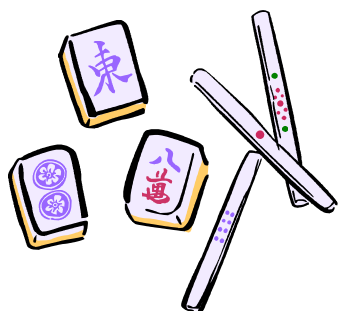
西武園ゴルフ場は、都心から近く来場者が多いにもかかわらずコースの管理が行き届いており、特に各ホールともグリーンの状態が素晴らしく多摩丘陵に涼風がそよぐ中、ゆったりのんびりゴルフが楽しめると思います。

今からわくわくしてきますね。一度西武園ゴルフ場の周囲を散策してみてください。素晴らしい自然の営みに出会えますよ。お客さんっ！（なつかしい呼びかけ・・・）

（井垣記）

麻雀同好会

世話人 小野 智 TEL 391-9523
松永 常尚 332-5621



先にご案内の第47回大会を下記要領にて開催します。奮って皆様のご参加をお待ち致します。

記

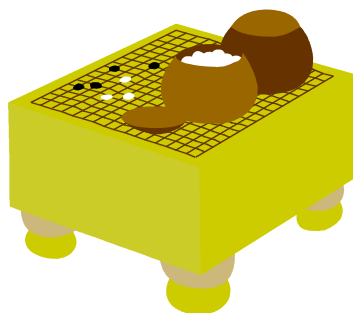
日時： 6月21日(日)
集合： 12時15分 (時間厳守)
開始： 12時30分
場所： マージャンM TEL 397-5228
本町4-12 アメニテイパレス B1F
会費： 7,000円
締め切り： 6月14日(日)

都合により、雀卓、定人数になり次第締め切らせて頂くこともありますので、是非早めにお申し込み下さい。

(松永記)

囲碁同好会

世話人 福田 晃 TEL 394-0593
高鷲 近 394-2336



●<お詫びと訂正> 先月号の『稲門会ニュース』で、「第19回夏季大会」は6月20日とお知らせしましたが、これは「例会」の誤りでした。世話人がボケてきたのか、お許しいただきたいと存じます。改めて次回の「例会」をご案内します。(夏季大会は8月に開催します。)

期日： 平成21年6月20日(土) 午後1時開始～5時
場所： 市民センター別館 第6会議室

○「オール早稲田囲碁大会」は、6月6日(土)に日本棋院で開催されます。我が東村山稲門会からは、福田・鈴木・堀田・高鷲・野村の各氏が団体戦に、江藤さんが個人戦に出場予定です。結果については、次号でご報告します。

俳句同好会 (稲酔会)

世話人 井垣 和太 04-2924-2934



第44回「稲酔」句会を6月20日(土) 午後1時から恩多ふれあいセンター和室で開催します。偶数月の第4土曜日を例会としてきましたが、今回は第3土曜日となりますので、ご注意ください。

兼題は「雨」一切です。梅雨、梅雨晴れ、などの季語で作るか、または、通り雨、豪雨、涙雨などで詠んでください。後者の場合は季語を別に読み込んでください。

4月に続き俳句同好会会員の紹介をさせていただきます。(五十音順こ～や。世話人の勝手な紹介です。)

小永井哲哉： 学生時代からの筋金入り俳句で08年暮から参加。詩的表現拔群。
高部糸行(素行)： 24節気(季節の節目)を全部詠もうと奮闘中。里の句いの俳句。
内藤慎： ゴルフ場への往復車中会話が入会の切っ掛け。艶のある句はお任せ。
丸本北窓(聡明)： 英米文学翻訳家、コラムニストで、重みのある句風。景の大きな句。
八木竜湖(勝利)： 兵庫の山間で、釣り三昧の「読売新聞俳壇」常連。月曜日が楽しみ。

五月雨を集めて早し最上川
猫が子を啜へてあるく豪雨かな
梅雨晴や峠を越えて峠あり

松尾芭蕉
加藤楸邨
大串 章



早稲田の恩師たち

出田邦博（S45・文）

四十数年前の第二文学部入学式「君たち二部の諸君、風揚げを知っているか？ 風は風がないと揚がらない。風は風を受けて高く舞い上がる！」多分このような訓辞をされたのは、S教授だった。この言葉が、我が早稲田時代、幾多の職業遍歴を経ながら夜間部に行ったり行かなかったりの貧困学生を支えてくれた。その7年後（4年で卒業出来ず）卒業の折には、T先生から「よくやった、途中でよう挫折しなかった君こそ、真の早稲田マンだ」と、直接言って頂いた。この言葉が、その後の曲折多く順調ならざる人生行路のバックボーンともなったのである。

まさに出会いは宝であり、言葉は力である。私はS先生のフランス文学の授業は専門外であり取らなかったし、話したことは一度もない。T先生は一応担任だった時があった(?)ようだが、先生の国語の講座は必修だったが興味がなく、よくさぼり当然成績は悪かった。だから、一般的な意味で、恩師などとは言えまい。しかし、一回限りの出会いで親密な関係がなくても、多数の中の一人であっても、書籍の中の一言半句であろうともうけ取る側の状況次第で、その時の気脈・言葉というものは、心身に染みわたる良薬になる。逆に身も心も突き刺す棘とも毒薬ともなろう。

振り返れば私自身も、これまで幾多の暴言虚言、悪口雑言を他に浴びせかけてきたことか。特に、三十三年間の教師時代、偽善的言動や独断我見によって多くの生徒を悩ませ傷つけたに違いない。それだけに、無視され反抗され、憎まれ罵られた事は数え切れず、『我事に於いて後悔せず』とはまるでいかなかった。退職後もふとした折に自責の念が頭をもたげてくることもある。悲しきかな、還らざる青春。

だが、それでも、三十年前の卒業生から「日本語の力を向上させることは難しいですね。もう一度先生に国語を習いたい、と思うことがあります」と記した年賀状を、昨年貰った。この春には、大学生になった娘を連れて、やがて五十歳になろうとする教え子（嫌いな言葉だが）が、大阪から家族全員で訪ねてきてくれた。反面教師であった私でも、少しは人さまの記憶に残っていたらいい。嬉しきかな、人の真心！

ともあれ、さっさと葬り去りたい過去があっても、過ぎし日の残照が時折輝きを伴って甦ってくることもあるものだ。それら全てをひっくり返して受け入れ仕舞い込み、自らのその重き荷を自らが背負うて、これからも凸凹道を自らボツボツと歩き続けて行くのだろう。

「人生は表通りだけ歩いていてはわからん。裏通りも時には行け」とは、授業中の雑談が面白かった名物教授暉峻康隆先生の箴言である。この先生こそ、私が都立高校の採用面接時に「推薦状」を書いて頂いた、忘れられない恩師である。先生もすでに鬼籍に入られている。何一つ恩返しができなかった。

青春の“都の西北”は遙か彼方に遠ざかってしまった一。なれど、心の恩師達との出会いとその文言が、時として私を勇気づけてくれる。有り難きかな、“心の故郷”。

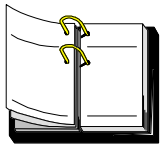
講演会のお知らせ

下記の通り講演会が行われ、当会会員の伊藤友己さん（S51・政経）他が講演を行いますので、お時間がある方は是非お出で下さい。

と き： 2009年6月27日（土） 午後1時30分～4時30分

ところ： ふるさと歴史館視聴覚室 （資料代200円）

題 目： 不動寺の中の徳川家霊廟の風景 お問い合わせは 事務局まで



今月の行事

- 6 日(土) 6 月 度 役 員 会
 雑 学 講 座 会
 お 誕 生 会
 カ ラ オ ケ 同 好 会
 7 日(日) テ ニ ス 同 好 会
 1 9 日(金) 健 康 増 進 同 好 会
 2 0 日(土) 囲 碁 同 好 会
 俳 句 同 好 会
 2 1 日(日) 麻 雀 同 好 会

7 月 の 行 事

- 1 1 日(土) 7 月 度 役 員 会
 お 誕 生 会
 テ ニ ス 同 好 会
 1 7 日(金) カ ラ オ ケ 同 好 会



編集局だより

○新型インフルエンザの感染拡大も終息に向かっているとのことで、ひとまず安心でしょう。初めてこのニュースを聞いた時、「これは危ないな」と感じました。素人考えですが、鳥インフルエンザより容易にヒトに感染するのではないかと思えたからです。その時一瞬頭に浮かんだのは異種間臓器移植のことでした。遺伝子操作された豚の臓器をヒトに移植するための研究が行われているそうです。臓器移植の対象にもなる豚は人間にとってある意味すごく近い存在だということになりますから..。本当に怖いのはこれからかも知れませんね。

○次号の原稿締め切りは 6 月 2 5 日 (木) です。よろしく願いいたします。(中村)

fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com

俳 壇

かまびすきインフルエンザつじ咲く 丸本 北窓
 兩岸を埋める夏草雨やみぬ 八木 竜湖
 初茄子の紺あらたなる朝の市 栗島 三郎
 手を見つつ軒に玉葱吊しをり
 窓越しの櫻一枝に湧く元氣 井垣 稻雀
 千年の枝垂れ櫻の息遣い
 黒南風^{くろはえ}の波より早く崖登る 大野 恵峰
 消すまいぞ幸せこもるしやぼん玉
 揚羽蝶木より出できて木に隠る 菊田 一平
 麦の穂が揺れて農夫の見え隠れ
 ぼうたんの花の描かれし金魚鉢
 忌まはしき鯉め金魚を誑かし 幸田 瑞雄
 独り待つ無人の駅に青嵐
 犬吠の風に挑みて松の芯 小永井 哲哉
 諺し背中が胡瓜刻みをり
 花舗の奥テレビが蒼し走り梅雨 高部 糸行
 肩上げを祖母^{ばば}が解きし更衣
 茶摘女や風に乗せ来る里ことば 内藤 慎
 五月晴れくつきり浮かぶ多摩連山
 孫育て婆と見上げる鯉のぼり